

テクノポリスセンター地区新設小学校 校舎実施設計概要・コンセプト等

1 施設の概要

位置・面積：宇都宮市ゆいの杜3丁目15番，32，002.49㎡

学校規模：想定児童数1,050人，想定学級数30学級

校舎規模：鉄筋コンクリート3階建て 約9,071㎡（給食室含む）

（普通教室30学級，特別支援学級，管理・特別教室など）

<参考：他施設の規模について>

【平成30年度 実施設計着手予定】

- ・体育館：鉄骨造2階建て 約1,950㎡
（バレーボールコート2面，ミーティングルームなど）
- ・プール：水面積 約450㎡
（大プール25×15・7レーン，小プール15×5）
- ・校庭：約11,000㎡程度
（トラック，野球場1面，サッカーコート1面）

【平成31年度 実施設計着手予定】

- ・子どもの家：利用児童数を見極め，施設規模を決定

2 コンセプト・設計内容

(1) 安全・安心への配慮

- ・敷地内歩車分離を明確化するとともに，職員室を昇降口の出入りや校庭を見渡せる位置とすることで，児童の安全性を確保した。

(2) 良好な教育環境

- ・普通教室の全面南向き採光や通風の確保はもとより，児童が長い時間を過ごす教室の床や，廊下の腰壁を木質化することで，温かみのある教育環境を整備した。

(3) 災害に対する備え

- ・周回できるコンパクトな動線と，見通しの良さを確保した建物とすることにより，災害時の避難経路と安全性を確保した。
- ・建物の耐震性能はもとより，ガラスの飛散防止対策や照明等の落下防止対策など，非構造部材の耐震性能も確保した。

(4) 環境への配慮

- ・ 省エネ・高効率型の設備機器の導入，建物の断熱化，照明のLED化などにより，国土交通省の定める基準値から24%のエネルギー消費量を削減し，文部科学省が推進するエコスクールプラス（※）の基準を満たす建物とした。

※エコスクールプラスとは，国土交通省の定める基準値であるエネルギー消費量から10%以上の削減を達成した学校施設のこと。

(5) 地域のシンボルとなるデザイン

- ・ 「ゆいの杜」地区を象徴する小学校として，児童が誇りに思える外観づくりのため，外観コンセプトを基にした複数の色彩デザイン案を作成し，平成30年2月に清原中央小学校児童により選定した。
- ・ 人を迎え入れ，目に触れやすい場所となる玄関の庇や内装には，地場産の木材や大谷石を積極的に採用し，個性のある宇都宮らしいデザインとした。